



# 議会だより

第67号

平成30年9月発行

編集：議会広報委員会

発行：大和村議会

☎ 0997-57-2216(直)

FAX0997-57-2967

〒894-3192 鹿児島県大島郡大和村大和浜100



## 消防操法大会「小型ポンプ操法部門」で優勝を飾った大和村チーム

今年で43回目を迎えた大島支部消防操法大会が6月24日に奄美フォレストポリスで開催されました。この大会は2年に1回の開催となっています。この大会の「小型ポンプ操法部門」において、大和村チームが優勝を成し遂げました。大和村チームは、4年前にも優勝を飾り、今回は地元開催での2回目の優勝となりました。

再来年の大会でも、ディフェンディングチャンピオンとして、活躍してほしいですね！

## 主な内容

一般質問（6人）	2～7
第61回市町村議会議員大会が徳之島町で開催！	8
第2回定例会	9～11
議会の動き	11～12
編集後記	12

# 6議員が村政を問う!!

## 第2回定例会一般質問

平成30年第2回定例会（6月）において、6名の議員が※一般質問を行いました。なお、質問議員の質問及び当局の答弁につきましては、一部を抜粋していますのでご理解くださいますようお願いいたします。

※一般質問とは、議員が村の行財政全般について、事務の執行状況や、将来に対する方針等を聞き、疑問点を質すことです。本村議会の一般質問の持ち時間については、一人1時間です。  
(6月10日 日曜議会)

奄美大島・徳之島・  
沖縄島北部・西表  
島の世界自然遺産  
登録延期について

国際自然保護連合（IUCN）が登録を延期するよう勧告したが、これから市町村はどのようなことをすべきなのか。

（答弁）本村は、湯湾岳を中心とした特別保護特区やマテリアの滝周辺の第一種特別地域など世界

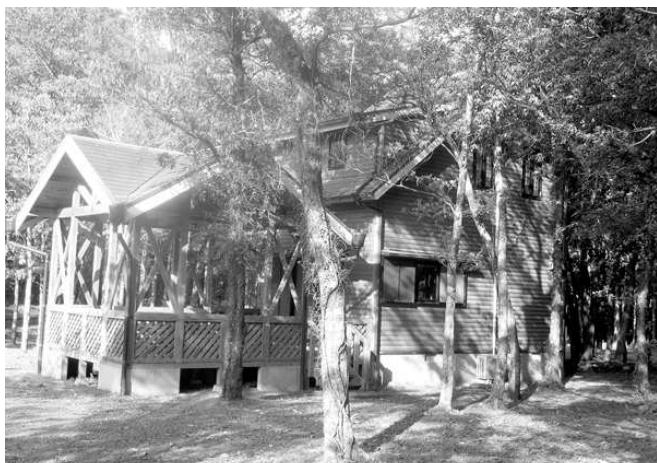


世界自然遺産登録再出発の本村の対応等について問う

奥田忠廣議員

5月23日の世界自然遺産登録推進会議の中で環境省は、推薦区域を見直すことで登録される可能性があると説明

自然遺産候補地を抱える自治体であるので、これからも世界に誇れる豊かな自然を守り伝えて行くために、国や県及び関係市町村等と引き続き連携を図り、地域住民と協力をしながら推進していく。



世界自然遺産登録延期の影響や今後の対策・対応はどうか？

（答弁）今後、クロウサギ飼育準備検討委員会を引き続き開催し、有識者からの意見を集約した上で、具体的な許可申請に向けて準備を進めていきた

をし、早ければ、20年での登録審査となり「地域の自治体と相談しながら早い段階で決めたい」との発言であった。本村は地域自治体ではあるが、どのような考え方を示すのかまとめておくべきではないか。

（答弁）ノラネコTNR事業や外来種駆除・野生動植物の保護・自然保護

現在本村が計画している、「くろうさぎ」飼育計画を、「くろうさぎ」特別特区申請はできないか。

### 特別特区申請について

の普及活動やエコツーリズムのなどについて、引き続き事業継続の推進を行い、また、登録後を見据え、各関係機関と連携を図り検討していきたい。

## 津名久墓地近くの宅地災害について

復旧工事を県単事業で計画しているが、現地が昔の津名久焼き工房跡地のようで、事業計画が中断しているようだが、今後の対応はどうなつてているのか。



(答弁) 県文化財課などに貴重な文化財遺産なんか、調査手法を含め検討していきたい。また、事業の再開については、県の回答を踏まえ対応したいと考えている。

(答弁) 当時、本村側の地籍調査は完了していたが、住用村側が未完了で、その後奄美市と合併したため、協議会は解散し現在活動をおこなっていません。

## 大和村・住用町間ネルの新設について

平成6年より、大和村・旧住用村間の県道新設促進協議会の陳情がなされていた形跡があるが、今現在はどのようになっているのか。

(答弁) 大和・旧住用間の道路計画については、長期的に取り組むべき計画であると認識している。今後、宮古崎トンネルや、



海岸漂着ゴミの現状や今後の対策等について問う

重信安男 議員

## 地域おこし協力隊について

(答弁) 規律等については、大和村地域おこし協力隊設置要綱及び大和村事務補助員等の雇用等に関する取り扱い要綱に基づき行っています。また、隊員の採用については、地域の活性化に意欲があるかな



多くの油が漂着した大瀬毛陣地区の海岸

などをポイントに行つている。

## 海岸漂着ゴミの対策について

(答弁) 本村においては、従来の海岸ゴミ回収事業による漂着油の回収ではなく、ボランティアや、日本サルベージ株式会社

現在、海岸漂着油について、問題は解決されたのか。

により回収作業行つてき  
た。現在、大和村役場や  
奄美漁協大和支所・環境  
省・各集落事務嘱託員の  
立ち会いのもと最終確認  
を行い、概ね原状回復し  
たものと判断し、収束し  
たと考えている。



（答弁）実証実験を行う  
かどうかについては、今  
後、運転にかかる燃料費  
等の負担や、焼却作業を  
行う人的負担及び建物等  
の設置場所について、龍  
郷町の実証データを参考  
にしながら検討していく  
たい。

沖縄及び龍郷町で、チ  
リメーサー（焼却炉）  
が試験施行されている  
が、大和村も1年間だけ  
でも実証実験を行つ  
てはどうか。

（答弁）村直営か民営化  
にするかについては、今  
後、検討委員会を立ち上  
げて進めていきたい。ま



大和の園を新たに建設する場合、  
診療所と近い方がいいのではないか？

（答弁）「まほろば憩いの里」  
のホームホスピス化及  
び大和村社会福祉協議  
会における福祉・介護  
事業の集約はできない  
か。

## 大和村における 医療・福祉・介護 について

近年の「大和の園」の  
入所稼働率は低下傾向  
にあり、経営を圧迫す  
る状況である。また、  
建物も老朽化しており、  
建て替えが求められて  
いるが、今後、「大和  
の園」の民営化及び移  
転新築の構想はないの  
か。

（答弁）「まほろば憩い  
の里」に関しては、補助  
金等によつ  
て建設され  
た施設な  
で、ホーム  
ホスピス化  
などの用途  
変更につい  
ては、国や  
県との協議  
が必要とな  
つてくる。  
また、今後、  
本村の福祉  
をどういっ  
ていくかと

（答弁）この事業につい  
ては、全体を五ヵ年計画  
で実施していく予定で、  
NPO法人「TAMAS  
U」が国直集落で実施し  
ている、「国直まるごと  
体験事業」を参考に村全  
体の事業として拡大展開  
していきたい。また、構  
想としては、本村の各集

落の持つ自然や歴史、文  
化・風習等の特色を生か  
し、住民との交流やふれ  
あい等を大切にした魅力  
的な滞在型・体験型観光



本村の医療や福祉等について問う

前田清和 議員

必要性を認識している。  
今後、敷地の確保や財政  
面などを考慮し、慎重に  
進めていきたい。

いうことについても、社  
会福祉協議会や大和の園、  
大和診療所と一緒に検討  
していきたい。

## 「大和村集落まる ごと体験事業」に ついて

NPO法人に委託して  
の事業となるが、村当  
局としての構想はある  
のか。また、どのよう  
に進めていくのか。

メニューによる観光振興を官民共同でしっかりと取り組んでいきたい。



農業後継者の方策を問う

池田幸一議員



本村の農業後継者対策はあるのか？

## 本村の農林水産業の後継者育成について

大和村の農林水産業の後継者（担い手掘り起こし）育成について、基本的な考え方を示していただきたい。

（答弁）現在本村で農業を営んでいる、45歳未満の青年就農者2名を、関

係機関の協力のもと、経営面・技術面において地域ぐるみでサポートし、

本村のモデル農家として育成を行い、成功事例を作ることで、あとに続く青年就農者も育成したい。

特に農家（スモモ・タンカン）生産者の将来に向け、持続可能な施策について伺いたい。

（答弁）本村としては、農家の生産意欲向上に向けたスマートGAP（鹿児島農林水産物認証制度）の継続取得による高付加価値化や、タンカンについては、大和村ブランドとして確立させ、農

家の気運を高め、生産の持続に努めていきたい。また、生産者の収入が少しでも多くなるように、販路の拡大や新たな販路開拓に努めたい。

村内の農家を中心、行政関係機関等による（仮称）農業後継者育成対策協議会なるものを設定し、議論を深める機会を計画できないか。



（答弁）現在「合同会社ひらとみ」において、地域振興の課題解決に向けて意見交換会を、村内法人に向けて進めている。その中で、農業分野の後継者育成確保についても課題として取り上げていき、官民一体となつて課題解決に向け取り組んでいきたい。

## 各集落の活性化について

職員の採用において、地元枠や一芸（スポーツ・文化・その他）に秀でた職員枠を設けることはできないか。

## 農業の振興について

農業用ハウスは、奄振事業を利用できないか。



各集落の活性化等について問う

宮田 到 議員



埋立地の有効利用計画はあるのか？

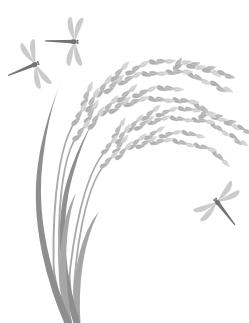
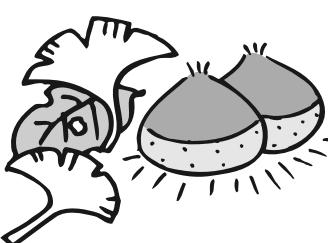
（答弁）これからも、各集落の空き家調査を実施し、改修等を行い、新規職員等の住宅確保に努めていきたい。

（答弁）各集落に職員住宅を確保し、職員を配置できることはないか。

## 大和浜・大棚地区埋め立て事業について

今後の利用計画について

（答弁）両地区の埋め立て地は当初の利用計画どおり、公営住宅や定住住宅・集落公民館など、公共用地として確保されているこれかたは、社会情勢の変更も考えていかなければならないと考えている。



（答弁）採用にあたり、地元枠及び一芸に秀でた者の採用については、筆記試験や適性試験において、最低基準をクリアしてもらうことを基本としている。また、地元枠については、防災無線や新聞広告及び地元住民の受験に対する意識を高める状況を作りたい。また、一芸に秀でた者については、本村において、活躍できるか採用の判断基準として口述試験を行つては、栽培農家の意向調査を行うかどうかについては、栽培農家の意向調査を行なながら、導入に向けての検討を行つていきたい。

（答弁）営農用のハウスは、「農業創出緊急支援事業」において市町村が推進する品目において導入は可能である。マンゴーに関しては、本村の推進品目となつてはいるが、事業を導入する受益戸数が原則3戸以上で組合を組織し、栽培管理作業の共同化や、資材の共同購入の実施が一般基準になっている。今後、事業導入を行なうかどうかについては、栽培農家の意向調査を行なながら、導入に向けての検討を行つていきたい。

（答弁）両地区の埋め立て地は当初の利用計画どおり、公営住宅や定住住宅・集落公民館など、公共用地として確保され共用地として確保されているこれかたは、社会情勢の変更も考えていかなければならないと考えている。

○本村の集客について、何から始めていくのか。  
○東シナ海ドライブコース・トイレの評判  
が良い  
○リピーターになつてもらえるための工夫  
について（看板・駐車場・ふれあい）  
○もう少し長く滞在してもらえるためには（地元人とのふれあいが一番喜ばれる）  
○ふれあいの場の構築

## 企画観光課の取り組みについて

について（現場の意見に対する支援策）

（答弁）まずは、「西郷どん」効果で観光客が増加している宮古崎入り口付近に宮古崎の紹介や国直集落内の駐車場やトイレ案内の看板を整備する予定である。その中で、希望者の把握を明確にしていきたい。また、支援策については、住宅改修助成において、民泊のための改修利用について促していきたい。

（答弁）土産品について土産品の開発について  
○食べ物+a→写真化  
→ド入り（シリーズ化）収集達成プレゼントつき



観光についてあらゆる角度から質問する

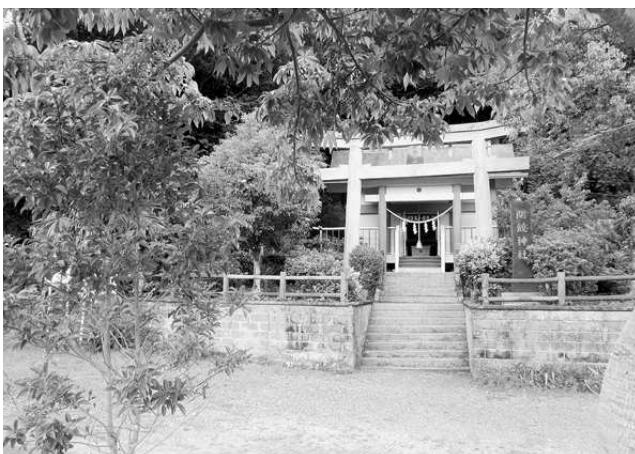
**正 議員**

していく予定である。また、食事や休憩の場所とすることで、大和まほろば館の隣接した場所に道の駅も構想計画していく。

○民泊への取り組みについて  
○希望者の把握について  
○支援策について

は、本村の特産品を大和まほろば館を中心に島内市町村のホテルなどにおいて販売している。今後、購買者の拡大を目指し、ドバイザーなども活用しながら取り組みを進めていきたい。

西郷どんで、奄美の黒糖が薩摩藩を支えた事を全国に知らしめてく



NHK大河ドラマ「西郷どん」でも放映された開饒神社をいかに発信していくか！

としては、サトウキビをもたらした直川智翁を祀った開饒神社をはじめ、本村の他の見どころなども候補地として推薦していきたい。

（答弁）奄美群島文化財保護対策連絡協議会の中で、奄美群島12市町村が連携し、日本遺産認定へ向けての取り組みを行うことが確認された。本村

れたが、明治維新にも寄与したサトウキビ産業について、その発祥の開饒神社を抱える本村から、黒糖コードの日本遺産登録へ向けて取り組みをおこすべきではないか。

# 第61回 市町村議会議員大会が 徳之島町で開催！

先日5月16日、徳之島町を会場に、全群議員大会が開催されました。

各地区から、それぞれの地区に現状に即した内容のある提出議題が出されました。南部3町村（瀬戸内町・大和村・宇検村）の提出議題としては3町村の共通提案事項として、大和村の「主要地方道名瀬戸内線の大金久～戸円間トンネルの早期実現について」が提出されました。

現在工事が順調に進んでいる宮古崎トンネルに引き続き、「大金久～戸円間トンネル」も実現化されることになると、いよいよ大和村全域がフラット化され、崖崩れなどによる通行難の不便さもなくなり、島内の方にはともかく、島外からの観光客などのみなさまにも安心して訪れることができ、宮古崎の「西郷どん効果」もあり、さらに大和村への観光客が増えてくることでしょう。

また、今大会において、群内で8名の議員が10年表彰を受け、大和村からは、蔵正議員が、前田芳作大島郡町村議會議長会会長から表彰を受けました。



講話を熱心に聞く議員団



大金久～戸円間のトンネルの早期実現提出議題を朗読する蔵正議員



議会議員在職10年表彰を受ける蔵正議員

# 第2回定例会

平成30年第2回（6月）定例会が6月5日～10日（6日間）まで開かれ、一般会計補正予算をはじめ、条例の改正や制定、同意案件などの議案が審議され、すべての議案が承認、可決されました。また二回目の日曜議会（一般質問）を行いました。

承認、可決された議案は、次のとおりです。

予  
算

## ●平成29年度 一般会計 補正予算の専決処分承認

○ 4 1 6 万円減	補正額（第9号補正） 8071万9千円 増額	予算総額 31億660万2千円
○ 村 税 (歳入)	※ 内、平成30年度への繰越明許額（社会資本整備総合交付金事業等） 4億130万8千円	○ 村 債 (歳出) 1120万円万円減
○ 地方交付税 (15億8919万6千円) 8483万増	平成29年度の予算執行確定に伴う最終補正予算であり、主な歳入・歳出補正予算は次の通りとなっています。	○ 財政調整基金積立 (10年間616件) 2454万9千円
○ 国庫補助金 483万円 6千円 特別 1億6 万円減	○ 保険特別会計補正予算の専決処分承認 補正額（3号補正） 751万2千円 減額	○ 一般管理費（大和村ふるさと応援基金） 1億6600万円増 (6億7300万円)

○ 寄附金 66万1千円増 付金5件32万円 (まほろば大和応援寄付金375件834万2千円)	●平成29年度 大和診療所特別会計補正予算の専決処分承認 補正額（3号補正） 313万7千円 減額
○ 村 債 (歳出) 1120万円万円減	○ 財政調整基金積立 (10年間616件) 2454万9千円
○ 保険特別会計補正予算の専決処分承認 補正額（3号補正） 751万2千円 減額	○ 一般管理費（大和村ふるさと応援基金） 1億6600万円増 (6億7300万円)
○ 一般会計補正予算の専決処分承認 補正額（3号補正） 3億5381万7千円 減額	●平成29年度 介護保険特別会計補正予算の専決処分承認 補正額（4号補正） 3022万2千円 減額

○ 保険税をはじめ、国・県支出金や交付金の確定に伴う最終補正予算です。 ●平成29年度 集落排水事業特別会計補正予算の専決処分承認 補正額（4号補正） 19万5千円 減額	●平成29年度 大和の園特別会計補正予算の専決処分承認 補正額（3号補正） 664万円減額
○ 保険料をはじめ、国・県支出金、交付金等の確定です。 ●平成29年度 後期高齢者医療特別会計補正予算の専決処分承認 補正額（4号補正） 19万5千円 減額	●平成29年度 後期高齢者医療特別会計補正予算の専決処分承認 補正額（4号補正） 1億7474万6千円 減額
○ 一般管理費をはじめ、介護給付費収入や自己負担金収入等の確定及び、施設介護サービス事業の実績に伴う最終補正予算です。 ●平成29年度 後期高齢者医療特別会計補正予算の専決処分承認 補正額（4号補正） 19万5千円 減額	●平成29年度 後期高齢者医療特別会計補正予算の専決処分承認 補正額（3号補正） 664万円減額

補正額（3号補正）  
602万4千円 減額  
予算総額  
2億5549万2千円  
使用料をはじめ、繰入金や村債の確定及び、事業実績等における最終補正予算です。

予算総額

3057万6千円

保険料をはじめ、繰入金等の確定及び、納付金や保健事業の実績に伴う最終補正予算です。

### ●平成30年度 大和村一般会計補正予算（第1号補正）

補正額  
4942万2千円 増額  
予算総額  
26億8229万3千円

（補正内容）歳入においては、県補助金として奄美群島成長戦略交付金や財政調整基金からの繰入れ、また二酸化炭素排出抑制対策事業費などが増額され、歳出においては、人事異動に伴う人件費の調整、集落まるごと体験事業委託料、地球温暖化対策実行計画委託料津名久集落内急傾斜地崩壊対策事業費、公園費として宮古崎周辺環境整備費を増額しました。

なっています。

（歳入）

○県補助金  
579万円増

○基金繰入金  
2770万円増

○雜入  
1460万万円増

○基金繰入金  
2770万円増

○雜入  
1460万万円増

○一般会計繰入金  
230万円増

○企画費（集落まるごと  
体験事業委託）  
400万円増

○環境保全対策事業費  
(地球温暖化対策)  
750万円増

○急傾斜地崩壊対策事業  
費（津名久地区）  
450万円増

（歳出）

○施設管理費  
215万円増

### ●平成30年度 集落排水事業特別会計補正予算（第1号補正）

補正額  
2944万6千円 増額  
予算総額  
3億135万2千円

（補正内容）歳入においては、国庫補助金及び県補助金は事業費及び補助割合の決定に伴う増額です。歳出においては、農業集落排水事業における、東部地区及び中部地区の工事費を計上しました。

### ●平成30年度 簡易水道事業特別会計補正予算（第1号補正）

補正額  
230万円 増額  
予算総額  
7853万9千円

（補正内容）歳入においては、一般会計繰入金の主な補正是次の通りと

増額。歳出においては、思勝地区橋梁建替工事に伴う、給水管の橋梁転化更新のための工事費等を増額しました。

（歳入）

○国庫補助金  
474万6千円増

○一般会計繰入金  
1120万円増

○事業費  
2940万1千円増

（歳出）

○一般管理費  
1483万8円減

●大和村乳幼児等医療費助成条例の一部改正  
○一般管理費  
1483万8円減

（改正内容）平成30年10月1日より住民税非課税世帯の未就学児を対象に医療機関等の窓口における、自己負担金を無くす制度を鹿児島県が創設した事に伴い、条例の改正をするもので

### ●大和村税賦課徴収条例の一部改正（専決処分承認）

（改正内容）地方税法等の一部改正に伴い、個人住民税について給与所得控除、公的年金等控除の見直しを図り、一部を基礎控除に振り替える対応を行う。固定資産税について不動産取得税の特例税率等について、住宅及び土地に係

（改正内容）大和の園財政調整基金繰入金を減額し、歳出においては、人件費等が減額されました。

### ●大和村税賦課徴収条例の一部改正（専決処分承認）

（改正内容）（改正内容）地

方税法等の一部改正に伴い、個人住民税について給与所得控除、公的年金等控除の見直しを図り、一部を基礎控除に振り替える対応を行う。固定資産税について不動産取得税の特例税率等について、住宅及び土地に係

る税率の特例措置、宅地評価土地に係る固定資産税評価額を二分の一の特例措置。たばこ税の引き上げについて地方のたばこ税率を平成30年10月1日より段階的に引き上げるもので

る税率の特例措置、宅地評価土地に係る固定資産税評価額を二分の一の特例措置。たばこ税の引き上げについて地方のたばこ税率を平成30年10月1日より段階的に引き上げるもので

## ●大和村税賦課徴収条例の一部改正

(改正内容)

生産性向上特別措置法が交付された事に伴い、条例の一部改正を行うもので。中小企業の一定の設備投資について、固定資産税を二分の一から0まで軽減することを可能にする时限的特例措置を創設しようとするものです。

# 議会の動き

## 【4月】

- 6日 村内小学校・大和中学校入学式（村内・議員）  
9日 新着任教職員歓迎会（防災センター・議長・副議長）  
12日 議長・局長合同会（奄美市・議長）  
16日 全員協議会（議員控室・全議員）

- 25～26日 県政説明会・県庁奄美会合同懇親会（鹿児島市・議長）  
30日 公明党離島振興対策本部現地意見交換会（奄美市・議長）  
宇都隆史先生講演会及び懇親会（奄美市・議員）

## 【5月】

- 1日 公明党離島振興対策本部現地意見交換会（奄美市・議長）  
議会と語る会（今里・議員）  
8日 臨時総会・議長研修会（鹿児島市・議長）  
9日 議長研修会（鹿児島市・全議員）  
10日 町村議会議員研修会（鹿児島市・議員）  
15～17日 第61回奄美群島市町村議会議員大会（徳之島町・全議員）  
18日 名瀬在住大和村連合郷友会懇親会（奄美市・議員）  
21日 全員協議会（議員控室・全議員）

議会と語る会（議会報告会）（国直・議員）

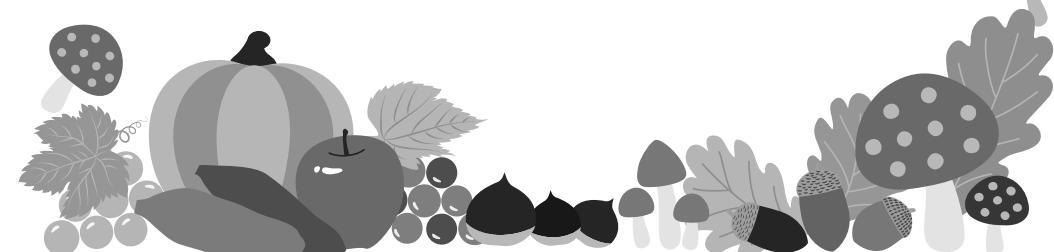
奄美群島航路対策協議会（奄美市・議長）

奄美群島広域事務組合臨時議会（奄美市・議長）

奄美群島地域産業振興基金協会評議員会（奄美市・議長）

## ●その他（議員発議）

●奄美大島上空でのオスプレイの飛行訓練中止を求める意見書の提出について



25日 明治150周年記念式典（鹿児島市・議長）  
27日 第4回ジョギング大会（村体育館前・議員）  
奄美SOKA青年大会（龍郷町・議長）

29日 議会運営委員会（議員控室・委員）

議会と語る会（戸円・議員）

## 【6月】

- 1日 定例会における勉強会（議員控室・議員）  
5日 第2回大和村議会定例会（補正予算・条例等）  
6日 プラム出発式（湯湾釜選果場前・議員）  
10日 定例会最終本会議（一般質問・その他）  
24日 消防操法大会（奄美フォレストポリス・議員）  
26日 きよら島交流館落成式（瀬戸内町・議長）

- 6日 衛生組合臨時会（奄美市・議員）  
7～8日 第59回大島地区大会（奄美市・大和村・議長）  
11日 公立高等学校生徒募集説明会（奄美市・議長）  
12日 常任委員長研修会（鹿児島市・委員長）  
17日 大島地区消防組合臨時会（奄美市・議員）  
20日 平成30年第1回議会臨時会（変更契約・補正予算）  
大島本島南部振興協議会総会（役場第一会議室・議長）

## 【7月】

奄美も暑さが和らぎ、涼しい風が吹き、少しずつ秋の足音が聞こえてくる季節になってきました。このような季節の変わり目に、みなさまはいかがお過ごしでしようか？各自工夫して過ごされていることでしょう。現在、猛暑とまではいきませんが、まだまだ暑さが厳しい日もありますので、体調管理には各自気をつけたいものです。

さて、現在テレビなどのマスメディアでは、健康管理などについていろいろ取り上げていますが、体調管理には「これ！」と言った決定的な手段はなく、体質が一人一人違うように、体調管理についても一人一人対策を立てなければいけないそうです。

一番大切なことは、日常生活の中で「自分に合ったベストな方法」を探し出すことだそうです。

これからも地域行事が目白押しです。月並みですが、体調など崩さないよう、また、無理なさらないよう日々マイペースでの時季を楽しんでいきましょう。

## 編集後記

広報委員長 民文忠  
広報委員 重信安男  
宮田到一  
池田幸一

**議会を傍聴しましょう**  
議会の定例会は年4回（3月、6月、9月、12月）  
行われます。お問い合わせ先 ☎57-2216（直通）